

## 閉会のご挨拶

2011年2月24日

(社) 日本画像情報マネジメント協会  
副理事長 佐藤伸一

Copyright© 2011 JIIMA ECM All Rights Reserved

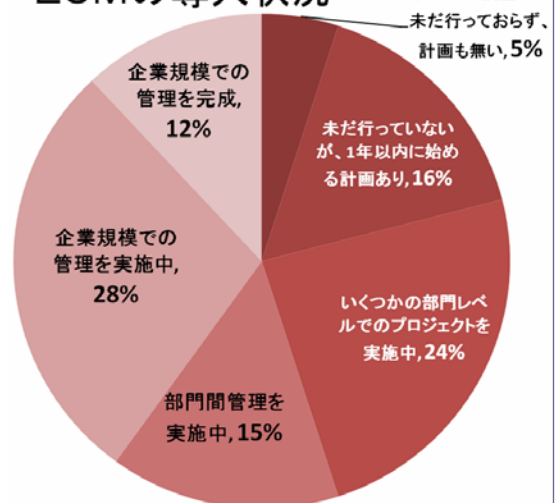
## 米国のECMの状況

AIIM2010での発表より

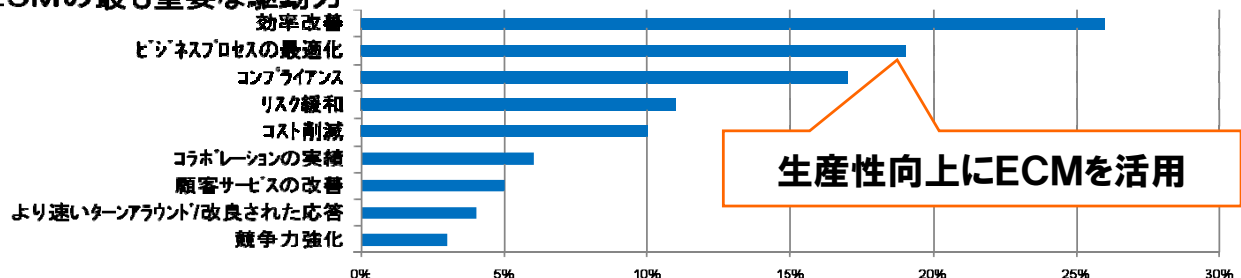
- ECMの導入状況：  
企業規模での管理を完成、実施中： 40%  
部門レベルでの管理： 39%  
行っていないは21%、この内1年以内に始めるは16%
- まだ36%の組織に文書と記録の管理にあたる取締役レベルの責任者がいない
- ECMの最大の駆動力は**効率改善とビジネスプロセスの最適化**
- 37%が、ECMは**グリーンIT**として有用と認識
- ECM活動の最優先事項は、「**多数のレポジトリの統合**」に続き、「電子記録管理の実装」、「記録としてのメール管理」。
- MS SharePoint：  
導入済み32%、実装中21%、(前年比26%増)  
内、単独ECMとして11%、既存との統合20%、並行動作23%、

### ECMの導入状況

2010年米AIIM調査



### ECMの最も重要な駆動力



生産性向上にECMを活用

## 少子高齢化による経済規模縮小

⇒ 一人あたりのGDPをUPする必要 = **生産性を高める**

- 日本のIT投資は、ECMなど人間系情報(非構造化情報)へのマネジメントが少ない
- 文書、記録を電子化して全情報を統合的にマネジメント
  - 情報共有
  - プロセス改善
  - 知創造 など

## ECMによる“生産性の向上”が重要

### JIIMAの願い

- JIIMAは文書情報マネジメントの普及・啓発により社会発展、経済振興に貢献してまいります。
- JIIMA活動へのご協力をお願いいたします

**ご清聴ありがとうございました**